

7月10日：海外からの買いによって2営業日続けての上昇

海外投資家からの買い需要と石油ガスセクターの上昇によってベトナム株は上昇した。

ホーチミン取引所のVN指数は0.47%上昇し973.65ポイントで取引を終えた。前日は0.3%の上昇だった。

火曜日に1%以上の上昇を記録したHNX指数は0.04%の上昇で105.14ポイントで取引を終えた。

流動性は悪化、両取引所合わせて出来高は1億8340万株で、売買代金は4.32兆ドン（1億8550万ドル）であった。出来高で4.5%、売買代金で9%下落した。

外国人投資家は買い越しで市場を支える形となった。

ホーチミン取引所では5営業日連続の買い越しとなり、1930億ドン（+51%）の買い越しだった。ハノイ取引所の買い越し高は270億ドンだった。

石油ガスセクターは両取引所で最も注目を集めた。HOSEではペトロリメックス（PLX）、ペトロベトナムガス（GAS）はそれぞれ670億ドン、264億ドンの買い越しだった。HNXではペトロベトナムテクニカルサービス（PVS）が305億ドンの買い越しだった。

外国人投資家の買い越しは短期的な市場の反発にとって良い兆候である。しかしながら、出来高はそれほど増えておらず、高値掴みをしないように、投資家は警戒を続けているということを示している。とサイゴンハノイ証券（SHS）はデイリーレポートで語った。

石油ガスセクターは水曜日の最もよく上昇したセクターで、世界の原油市場の上昇の恩恵を受けることとなった。暴風雨接近を受けたメキシコ湾沖の生産停止問題によって石油価格は4営業日連続の上昇となっている。

ベトナム株式市場でも、ペトロベトナムガス、ペトロリメックス、ペトロベトナムドリリング (PVD)、ペトロベトナムテクニカルサービス (PVS) などは 1.3-2.5%上昇した。

その他の大型銘柄では、ベトジェット航空 (VJC)、コテコンズ建設 (CTD)、ホーチミン市インフラ投資 (CII) などは 2%以上上昇した。

SHS のアナリストは、投資家はパウエル議長の議会発言を警戒しており、この発言によって本日の取引はボラティリティが高くなると予想されると述べた。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。